

今、SLは観光・保存鉄道として復活しているが、昔、SLが走る線路を守っていた男達の仕事歌は、この世から消えつつある。その仕事歌復活の「歌の夢づくり」を提案したい。

1. SLが走った線路には二つの歌があった

蒸機機関車 SLは雄姿も魅力的だが、その汽笛・ばく進音・ピストンや動輪から発する打音は人間的で、体と心に響く(写真1)。これは線路を舞台とする「走る交響楽団」といえるが、その舞台裏にも男達の仕事歌があったのだ。

重たいSLが走る度に線路は少しずつ不均等に沈み危険になるため、常に平らに直す仕事が行われた。昔は、枕木下に砕石をビータ(ツルハシ状)で多数の男達が力強く一斉に打込み直したが、その動作を合わせるリズムとして仕事歌が必要だったのだ(写真2)。

2. 歌が街をつくり潤している例もある

ワイキキでは「ハワイアン」の音楽は何時でも何処でも流され、耳に残るお土産にもなっている(写真3)。

熊本県五木村では「五木の子守唄」が方々で聞かれるが、これは幼い子供が自分を慰める「守り子唄」であり、他に赤子を「眠らせ唄」、「遊ばせ唄」がある。

元唄が編曲民謡化されたものが有名だが、歌詞は約70あると言う。また、歌い手は、90才を超える伝承者から若い娘に歌い継がれ(写真4)、人吉市ホテルでも保存会の若い娘が舞台上で歌っていた。

村は、川辺ダム計画で高台移転し、観光に力を入れており、風景と歴史・文化・地理が込められている歌も観光に尽くしているようだ。歌の祭もあり、レコードも販売され、まるで歌の街にも見える。

この歌が仕事の辛さを癒す点と、世の中の移り変わり、今は仕事そのものが無くなった点では「線路の仕事歌」にも似ている。しかし、有名で歌い継がれた歌と、消えて無くなりそうな歌とでは大きな違いがある(表1)。

3. 鉄道100年で脚光浴びたのは線路の仕事歌だった

線路の仕事歌は、音頭取りの歌のリズムで作業安全と効率を図る「技術」であり、かなりエロチックとユーモアの即興歌詞で疲労を癒す(紛らわす)役割も果たしていた。



写真1 SLは走る交響楽団



写真2 歌で進むビータ作業



写真3 どこでもハワイアン



写真4 子守唄の伝承者

第二次大戦中、重労働もした若い女線路工手は、これを歌わなかったということも想像できる(写真5)。

時代を経てビータ作業が機械化され、仕事歌が消えるため、1965年頃東北仙台に、歌と作業動作の保存会が結成された。仕事歌は「トコショット節」(表4)、「線路つき固め音頭」、「タンピング音頭」とも呼ばれた。

1972年、鉄道100年イベントには、国鉄代表でこの保存会が東京TV出演、さらに「題名のない音楽会」にも呼ばれる等、その年は脚光を浴びた(写真6)。

しかし、出演者は50歳を超える職員のみで若い職員には引継がれず、何れ保存会も消滅するため、一般民謡(労作唄)にならない民謡化で保存の道を探った。

4.「線路の仕事歌」が民謡化・レコード化を果たす

一般の民謡は明治中期迄に成立したと言われ、明治5年鉄道開業前、英国技師の掛声に始ったとも言われる仕事歌は民謡の波に乗り遅れたのか。また、この歌が音頭取りと相手方の掛け合いのため、1人では歌い難く、当時仙台でも宴会で歌える人も限られていた。

そこで、保存会の歌を編曲し三味線伴奏等で歌い易い民謡「保線音頭」を、江差追分で有名な民謡歌手の吹込みで1981年レコード化を果たした(写真7)(表4)。

5.「保線音頭」は民謡としてはやらぬまだ

毎年の全国鉄道民謡大会で、「保線音頭」は新潟で歌われた後、1998年の別府大会では女性グループによりが歌われ、団体部門では優勝の栄を得た(写真8)。

1980年、NHK日本民謡番組に投稿し、全国放送となった時、アナウンサーは「昔からある民謡のようだ」とコメントされたが、それ以上の進展はなかった。

その後手に入った博多保線区の仕事歌歌詞(写真9)(表4)とテープには博多弁が入り、門司から博多・大宰府・長崎の地名も含まれており、貴重な存在だ。

6.「線路の作業歌」「保線音頭」の弱点は何だろうか

木挽き歌や田植え歌等多くの仕事歌が民謡となって歌い継がれたが、SLと共に日本の鉄道発展の一翼を担い、全国で歌われた鉄道唯一の民謡の仕事歌が消えるのを、ただ見過ごす訳には行かない。何故この仕事歌や民謡化保線音頭がはやらないのか弱点を探ると、



写真5 戦時中の女線路工手



写真6 題名のない音楽会出演



写真7 保線音頭のレコード化



写真8 保線音頭で団体優勝

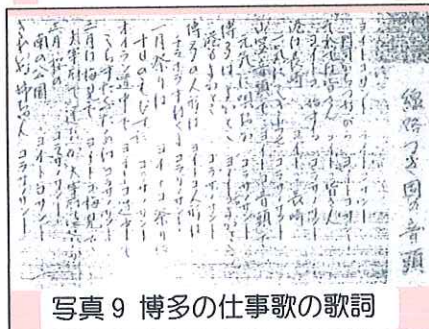


写真9 博多の仕事歌の歌詞

- (1) 一人で歌い難い(相手方必要)
- (2) 歌詞もリズムも繰返して面白さも悲哀もない
- (3) 歌の存在と線路の仕事が知られていない
が推定され、その解決の道を探ってみた。

7. 「線路の作業歌」等の弱点改善を考えてみる

(1) 歌い難さ:

今後の民謡化では、「〇〇保線音頭」を「トラック1」、元唄は聴く専門の「トラック2」のセットで保存する。合いの手部分は「日向木挽き歌」離子程度に減ずる。

または、今後民謡化に取り組む「博多保線音頭」では、合いの手をカラオケに組込むCD化も考えられる。

(2) 面白さがない:

現保線音頭は堅い元唄が「素」であるが、博多の「保線音頭」は博多弁や鉄道旅の場面があり九州の民謡の味わいがある。保線音頭が仙台と博多の複数となれば、地域性が出て民謡に親しみが出るはずだ。

また、堅い文句は最小限にして、実際に近く、エロチックは適度な歌詞を発掘したい(表4)。

さて、一般民謡には「悲哀」ものも多い。元気付けの線路の仕事歌(元唄)とはいえ、肉体労働の辛い仕事には悲哀も残り、そこを表現した民謡分類の「休養の歌」で作曲されれば民謡ファンも見向くに違いない。

(3) 知られていない:

線路の仕事を、世界記憶遺産の炭鉱画にならひ、素人に分り易く「保線画」(仮称)で示す(画1)(画2)。

線路沈下をモデル図で図示し、直す作業で多数のビータの動作合せの仕事歌リズムと歌詞「トコ始まる」等の合図で作業が進む紹介をする。(図1)(図1-2)。

さらに、ビータ作業(つき固めと前進・折返し)を4~8体連結ロボットの一斉動作で表現し(写真10)、歌不在では作業が進まないことを説明する。ドラエモン等も一部加えれば面白く子供達の興味も引くだろう。

8. 「鉄道の歌コーナー」のイメージ(まとめ)

昔、先人が線路で朝から晩まで働く時に歌った仕事歌は、線路がある全国津々浦々で聞かれ、沿線を歩く人との関わりもあったが、今は何んの片鱗も残らず、民謡に登録されず歌の絶滅危惧種になった。先人の労苦に感謝し、その歴史を後世に残すのは、関った者の役目だろう。

○軌道狂いとつき固め(断面図)

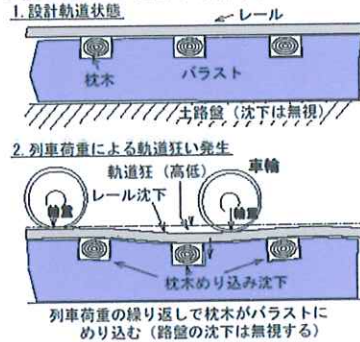


図1 線路の沈下状況(復元後述)



画1 仕事の絵(炭鉱画から)



画2 線路の通り直し絵

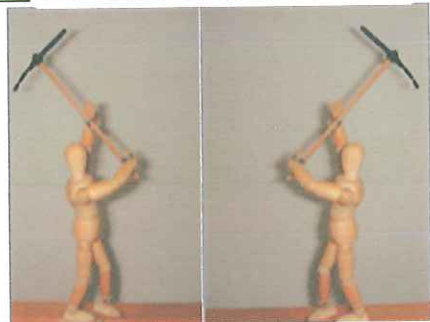


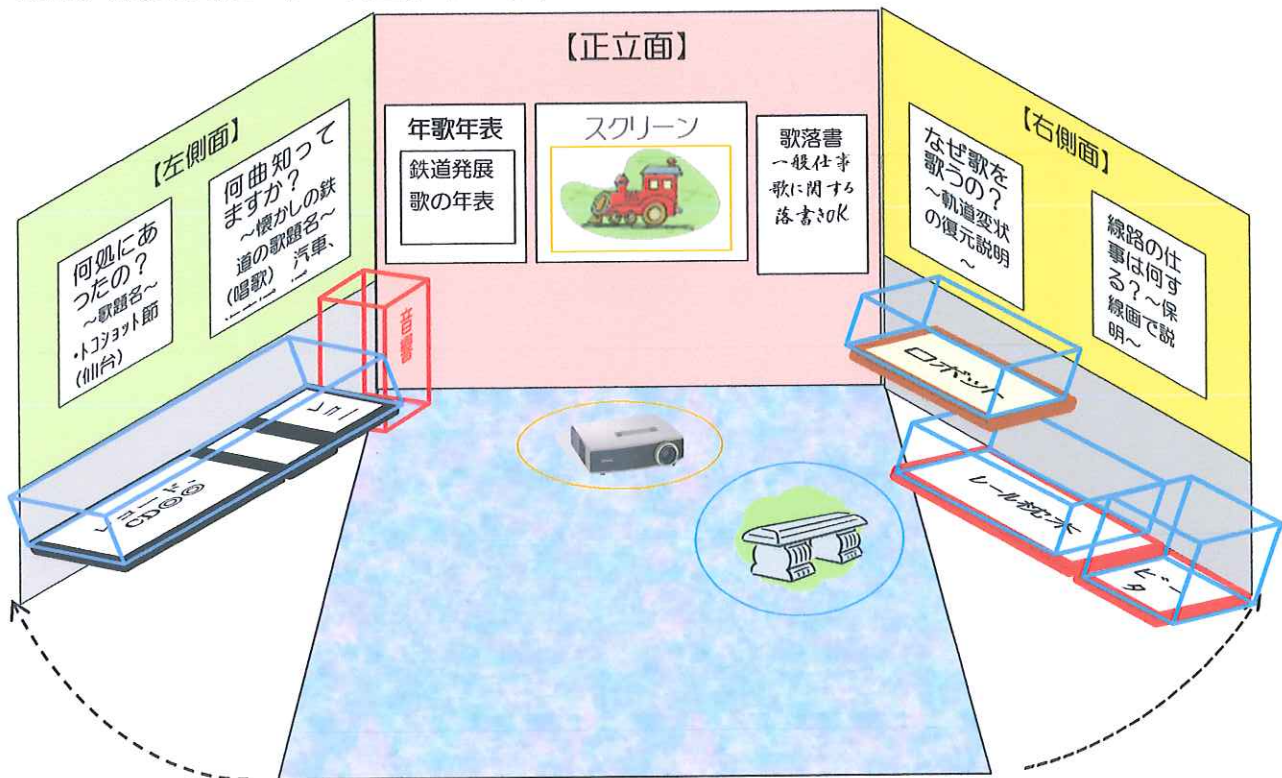
写真10 ロボットのビータ作業

幸い今日は、鉄道ファンは鉄女も増え老若男女に広がっているから、鉄道の歌の唱歌や流行歌等が聴ける拠点があれば懐かしく楽しめるのではないか。その拠点として「鉄道の歌コーナー」(表 2.3) (図 2)が、鉄道の町といわれる駅の一部、あるいは既存の鉄道博物館記念館等に設けられれば、音楽が流れるまち(ところ)となり、鉄道の歌ファンが新たに集まるだろう。そして、「線路の仕事歌」等を添えれば、自然に仕事歌等が引継がれて行くと考える。


緒方義幸(かぎよしゆき)71才 会社員 'yogatx8@nifty.com'
811-3214 福津市花見が丘 1-10-10-705 電話 0940-43-1868

[参考文献]鉄道施設協会誌緒方義幸「線路の作業歌」、本島三良「鉄路に生きる男たち」、五木村観光協会「五木の子守唄」、田川市石炭歴史博物館「山本作兵衛の世界」

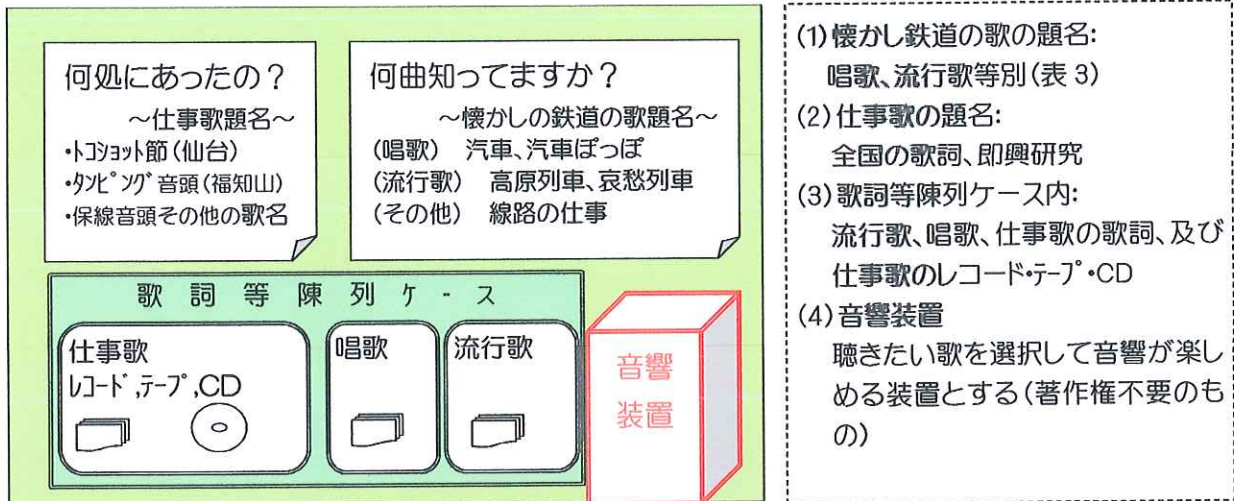
(図 2) (鉄道の歌コーナーの全体イメージ)



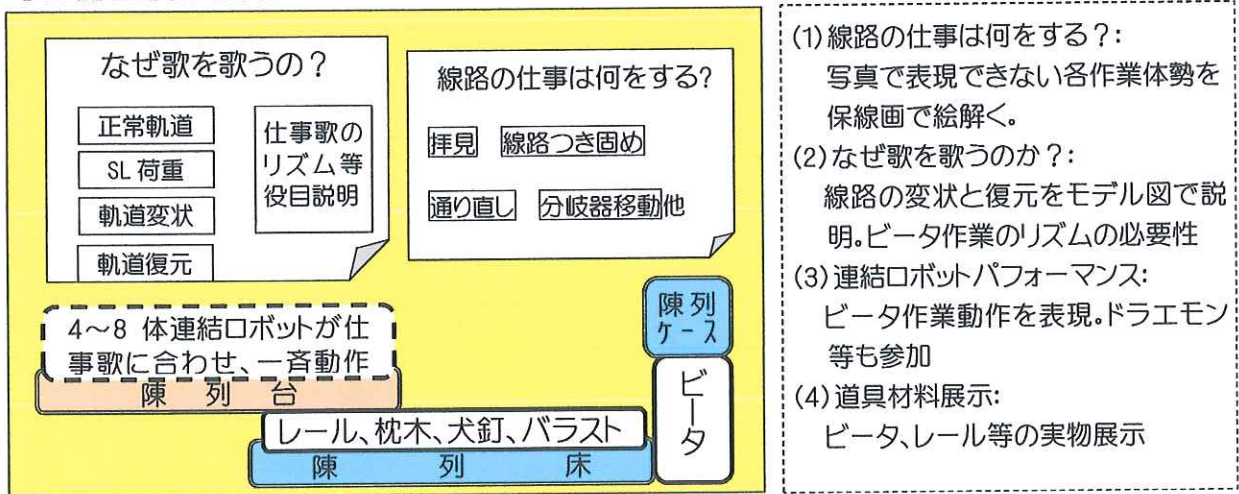
(図 2-1) 【正立面】スクリーンと鉄道歌歴史コーナー

<p>歌年表 鉄道発展・ 歌の年表</p>	<p>スクリーン</p> 	<p>歌落書 一般仕事歌 に関する 落書きOK</p>	<p>(1)スクリーン: 一定時間に、SL、ピータ作業等の静止画、動画をパワーポイントでスライド映写</p> <p>(2)年表: 簡単な鉄道歴史と歌年表掲示(1例表 2)</p> <p>(3)歌落書(余白): 来訪者に、鉄道その他の仕事歌に関する情報、感想意見を落書きしてもらおう</p>
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(図 2-2) 【左側面】歌のコーナー



【右側面】絵・連結ロボット・道具と材料コーナー



(1) 「五木の子守唄」と「線路の仕事歌」比較 (表 1)

歌名	分類	唄が必要だった (昔の姿)	唄が歌われない (今の姿)	似たところ (大まかな共通点)	似ていないところ (相違点)
五木の子守唄	童歌	焼畑等山仕事の親を助け、又は生計のために赤子守りに出る子供達が辛さを慰める目的	1.焼畑減少 2.赤ん坊減少 3.保育所できた 4.紙私ツ等便利 ※観光用に歌う	1.辛い仕事(精神) 2.「守り子唄」で自分を慰める 3.歌詞も曲も多く、即興もあった	1.女の子が歌う 2.1人で歌う 3.旋律マイペース 4.有名で民謡化 5.若い人に伝承
線路の仕事歌	労作歌	変状する線路を男たちが朝から晩まで修繕するリズムと疲労の癒し目的	1.機械化でベータ作業無くなる 2.作業不要の線路も出来た 3.1人は歌い難い	1.辛い仕事(肉体) 2.疲労を癒す 3.即興が多く(決まった歌詞なし)	1.大人が歌う 2.多数で歌う 3.合図・リズムがある 4.無名で民謡化1曲 5.伝承されない

(2) 鉄道と歌の年表(表 2) (鉄道施設協会誌寄稿「線路の作業歌」から一部)

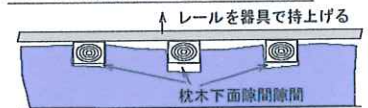
西暦	和暦	鉄道発展・速度・歌	在来線路技術	線路の作業歌関連	関係者及び記事
1945	S20	♪汽車ぽっぽ			
1950	S25	国鉄スワローズ発足			
1951	S26	♪僕は特急の機関士			チェンソー輸入
1952	S27	♪赤いランプの終列車	T.T.導入	四国名所徳島保線区音頭優勝*	*四国競技会
1953	S28		ロング*導入		*ロングレール
1954	S29	♪高原列車は行く		《本線からピータが T.T.へ》	
1956	S31	11.19 東海道全線電化	ロング本格化	《作業歌らしき声を聞く*》	*ローカル線
1958	S33	11.1 電車特急こだま	電マル*、大量 PC		*電気 MTT
1961	S36		重 40N,50N,マ*	S35 《ピータ作業消える》	*高速軌道検測
1962	S37		四頭 T.T.		
1964	S39	10.1 東海道新幹線開業 10.10 東京五輪 ♪恋の山手線	外国製 MTT	10.14 線路搦き固め音頭と作業を発掘*、テレビ放映 《分岐器運搬で音頭を聞く*2》	*仙台施設部長鈴木秀昭氏 *2 博多保線区
1965	S40	国鉄スワローズ身売		10.14 仙台音頭保存会発会式*	NHK スタ 102
1968	S43	10.1 ダイヤ改正全国列車 V 120	S42 重 60 制定		
1971	S46		国産最後 38MTT	10.14 ピータ作業実演(保線の昔と今で保線機械化 PR)*	*地元テレビ
1972	S47	鉄道 100 年記念行事に仙台保存会出演	舗装軌道開始	2.28 モーニングショウ出演* 10.17 全国線路つき固め大会*2 12.9 題名のない音楽会出演*3	*日本テレビ *2 錦糸町駅 11 組*3 故黛敏郎司会
1973	S48	381 系振り子曲線 V+25		《歌なしピータ作業見る*》	*青函内工事線

(3) 鉄道の歌いろいろ分類(表 3)

	児童・生徒・大人	鉄道マン対象
仕事歌・ 国鉄歌・ 労働歌		トコヨット節、タビソング 音頭、 保線魂の歌、鉄道精神の 歌、私たちは俺たちは、
流行歌	赤いランプの終列車、 高原列車、哀愁列車、 恋の山手線、雪列車、 函館本線、 ヤッホーしんかんせん	僕は特急の機関士、 レール可愛いや、 鉄路の男
唱歌・ 童謡	鉄道唱歌、汽車、 汽車ぽっぽ	
日本民謡		保線音頭(自認)
アメリカ民謡	線路の仕事	
その他		トコヨット起源件*3労働歌

図 1 追加 軌道構造復元モデル図

3. レールを設計面に持ち上げた状態



枕木下にすき間ができる

4. 設計軌道に復元状態(つき固め作業)



枕木下に砂利をピータでつき込む

図 1-2 線路の復元

